

石西礁湖一般公開用マップの対応状況について

<はじめに>

行動計画の1-④「分かったことを結びつけて科学的に知る」に対応して、環境省の調査データや委員の持っている情報を総合して視覚的に表現し、広く一般にわかりやすくフィードバックしたり、対策立案に役立てたりするためのツールとなる地図を作成する。

石西礁湖の現況をわかりやすく伝え、共通したイメージや認識をもって各取組を行うことで、より強力に効果が得られるようになることを主眼とした。2種類を作成し、これまでの部会、協議会にて出た意見を踏まえ、改良を行った。

<改良点>

◎現況把握マップ～近年のサンゴ被度について～

- ・ 赤と緑は色覚にハンデのある方でも識別できるようにする
→アクセシビリティチェッカー等を用いて濃淡で識別できるように調整
- ・ 赤色がみえている＝サンゴが減っているところであるという説明を追加
- ・ 調査ポイントの写真をポータルサイト等で公開する
→次年度の公開に向けて検討、準備中
- ・ 過去のデータが無いところは注釈を入れる
→全ての地点に過去データがあることを確認
- ・ 水質、水温、透明度を数値化して追記する
→時間軸の取り扱いが難しいため、学術調査部会（第4回作業チームと第6回部会）で検討
- ・ 被度について解説する
→被度を厳密に定義すると難解となること、サンゴちゃんが説明している文章から被度という表現がサンゴの量を意味していることは理解できることから、今回は記載しないこととした

⇒【確定】し、ポータルサイトで公開。

各委員のウェブサイトやSNSでリンク周知にご協力をお願いします。

◎サンゴ礁健全度マップ

- ・ 項目の説明は一般に理解しやすい表現に改めるか、追記する
→SPSS ランク（濁りの指標）のように括弧書きで追記した
- ・ 六角形の面積が広くバランスが取れているほど健全であると表記を改める
→表記を変更した
- ・ SPSS ランクの最大値は 5a 以下とする
→5a 以下に変更した
- ・ ブダイ個体数の調査方法を付記する
- ・ レーダーチャートの項目をさらに検討していく
- ・ ブダイや病気など主観が入りやすい項目や、SPSS など地点による違いが大きい項目についてどうするのかなど、協議会で再度議論する
→上記3点について、ブダイと病気の項目は観察者による主観が入りやすい
ため、項目から外した
- ・ 石垣島南部の表記を竹富島南部に修正する
→修正した
- ・ 島の中にある青と黒の線を消す
→島内の線を消した
- ・ レーダーチャートの方は満点の科学的根拠を示す
→表記した

⇒【確定】を見送る。

引き続き、より良い表現方法を検討するが、現況把握マップ周知後の反響などを踏まえ、現況把握マップを改良することで健全度や目標の到達度（正○角形に近づける）を一緒に表現できないか等を検討する。

<検討事項>

- ・ 一般に向けた対策を呼び掛けるメッセージ
→現況を知らせるに留まらず、これを見た人が自然再生について考えたり、行動に移したくなったりするような仕掛けが必要なので、第6回三部会において、それまでに寄せられた意見等も踏まえて検討し、反映したい。